

7 陳情第 20 号

7 陳 情 第 2 0 号	事業系ごみの排出方法に関する陳情
付 託 委 員 会	環境建設委員会
受 理 及 び 付 託 年 月 日	令和 7 年 8 月 2 6 日 受理、令和 7 年 9 月 2 5 日 付託
陳 情 者	東京都新宿区————— ————— 代表取締役 —————
(要 旨) 事業系有料ごみ処理券を事業系ごみ袋（4 5 ℓのみ）に変更してください。 (理 由) 現在、事業系ごみは1 0 ℓ・2 0 ℓ・4 5 ℓ・7 0 ℓの有料ごみ処理券（シール）をコンビニ等で購入し、容量に応じて各自が用意した袋に貼付して出すというルールになっています。しかし、その手軽さゆえに、シールを貼らずに排出するケースや、容量に見合わない袋に小さい容量のシールを貼付するケース、さらには収集日以外に出すといったルール違反が多く見受けられ、適正な排出管理が困難になってきています。 有料ごみ処理券を廃止して事業系ごみ袋（4 5 ℓのみ）とすることで、袋の仕様（サイズ・色・印字など）を統一でき、排出物が一目で事業系であると判別可能となります。その結果、区職員や収集業者による現場での確認作業が容易になり、不適正排出の抑止や指導の迅速化にもつながります。また、シール方式と比較して不正利用の余地が少なく、排出者のルール順守意識を高める効果も期待されます。こうした点を踏まえ、新宿区でも事業系ごみ袋の導入が望ましいと考えられるため。	